

情報学教育 V フォーラム

Information Studies Education Virtual Forum

3つのキーワード

感性に響く ICT 超活用
人間性（感性・理性・知性）への回帰
AGAA（芸活：全世代参加型広義芸術活動）

Twitter 公式アカウント

| | | |
|--------------------|------------|----------|
| AGAA-DNA(デオ騎士リボ拡散) | → @DKRK_1 | ※メインステージ |
| 情報学教育研究会 | → @sigise | ※サブステージ |
| 用語解説・概念整理 | → @iseterm | ※サブステージ |

Web サイト

主な Web サイトは下記の通りです。

ニュースサイト → <http://www.sigise.jp/news/>
ICT 超活用 → <http://www.sigise.jp/ultraict/>
AGAA → <http://www.sigise.jp/agaa/>

開催要領

総会（GVM）は、隔月（奇数月）の土曜日に開催します。なお、第4回総会を経て、V フォーラム（VM）を、完全な「常設」と位置づけ、適宜、総会（GVM）も開催します。

| | | |
|-----------------------|----------------|----------------|
| 【第1回 V フォーラム総会（GVM1）】 | 2019年5月25日（土） | 21:00 ~ 翌 2:00 |
| 【第2回 V フォーラム総会（GVM2）】 | 2019年7月13日（土） | 21:00 ~ 24:00 |
| 【第3回 V フォーラム総会（GVM3）】 | 2019年9月14日（土） | 21:00 ~ 24:00 |
| 【第4回 V フォーラム総会（GVM4）】 | 2019年11月11日（月） | 23:00 ~ 24:00 |

第4回は、完全な常設に移る直前の総会ということから、特別な日と考え、本研究会の発足から11年目を迎える日（11月11日）に設定いたしました。

したがって、第3回までのように土曜日の開催ではなく月曜日となりましたので、平日開催を考慮し、1時間という短縮開催といたしました。

つまり、第4回 V フォーラム総会は、

令和1年の11月11日の午後11時から1時間の設定で11年目を迎える記念行事となり、完全常設に向けての第1ステップといたします。

したがって、結局のところ、1が11個ならぶことになりました。

| | | |
|-----------------------|---------------|---------------|
| 【第5回 V フォーラム総会（GVM5）】 | 2020年1月11日（土） | 21:00 ~ 23:00 |
|-----------------------|---------------|---------------|

その後も、引き続き、隔月（奇数月）にて開催いたします。詳細な日程につきましては、ニュースサイトを参照願います。

Vフォーラムについて

(お知らせ)

1. 名称

- (1) 正式名称 情報学教育Vフォーラム
- (2) 位置づけ 情報学教育フォーラムのV会議 (VM, Virtual Meeting)
- (3) 英語名称 Information Studies Education Virtual Forum
- (4) 略称 Vフォーラム
(V forum, ブイフォーラム, ブイ・フォーラム等を含む)
- (5) VMとGVM Vフォーラムの常設化に伴い、日時と回数を指定して行うVMを、特に、GVM (General Virtual Meeting) と呼び、Vフォーラムの総会としての機能をもつ。

2. 趣旨

情報科教育法研究会はその発足から18年目を迎えました。また、情報学教育研究会の再発足からみれば、令和1年11月11日に11年目を迎えます。

一方、情報学教育フォーラムは、話題提供・提案・意見交換などを行う場として機能し、第1回を早稲田大学にて開催し、既に5回が開催されています。

そこで、この記念すべき年に、第6回フォーラムは新ステージに移行し、Vフォーラムといたします。

Vフォーラムは、Virtual Forum (仮想フォーラム) のことで、ICT超活用により、時間と空間の制限を超えて、次世代にふさわしい展開を行うための新ステージとなります。

3. 参加資格

情報学教育、情報メディア教育に関心を持ち、ICTを活用した「新しいカタチ」に関心をお持ちの方(18歳以上)であれば、どなたでも参加が可能です。

4. 特徴

SNS(現時点では、Twitter)、Webサイト、現場(例えば、教育現場)を繋ぐICT超活用の提案を具体化するための活動で、AGAA(芸活:全世代参加型広義芸術活動)の一環を担うものです。詳細は、専用のWebサイトを参照願います。

5. 実行と運営

- | | |
|----------------|---|
| 実行: 情報学教育フォーラム | http://www.sigise.jp/isef/ |
| 運営: 情報学教育研究会 | http://www.sigise.jp/sig_ise/ |
| 事務局 (Vフォーラム) | isemailnews@gmail.com |